

薬物問題でお困りの時は相談してください

専門家が秘密厳守で相談にのってくれます。



こどもがスマートフォンで
薬物について検索していたのを
見つけて…

最近、
こどもの様子が変わります。
目を合わせて
会話をしなくなって…



薬物について相談できる窓口はこちら

北海道	北海道厚生局麻薬取締部	☎011-726-1000	福井県健康福祉部健康医療局医薬食品・衛生課	☎0776-20-0347
	北海道医務業務課	☎011-204-5265	福井県総合福祉相談所	☎0776-26-4400
	北海道立精神保健福祉センター	☎011-864-7121	滋賀県業務課	☎077-528-3634
	札幌こころのセンター	☎011-622-0556	滋賀県立精神保健福祉センター	☎077-567-5010
	東北厚生局麻薬取締部	☎022-227-5700	京都府業務課	☎075-414-4790
東北	青森県医療業務課	☎017-734-9289	京都府精神保健福祉総合センター	☎075-641-1810
	青森県立精神保健福祉センター	☎017-787-3951	京都市こころの健康増進センター	☎075-314-0355
	岩手県健康国保課	☎019-629-5467	大阪府業務課	☎06-6941-9078
	岩手県精神保健福祉センター	☎019-629-9617	大阪府こころの健康総合センター	☎06-6691-2811
	宮城県業務課	☎022-211-2653	大阪市こころの健康センター	☎06-6922-8520
	宮城県精神保健福祉センター	☎0229-23-0021	堺市こころの健康センター	☎072-245-9192
	仙台市精神保健福祉総合センター	☎022-265-2191	兵庫県業務課（県内全域）	☎078-362-3270
	秋田県医療業務課	☎018-860-1407	ひょうご・こうべ依存症対策センター（県内全域）	☎078-251-5515
	秋田県子ども・女性・障害者センター	☎018-831-3946	兵庫県精神保健福祉センター（神戸市以外）	☎078-252-4980
	山形県健康福祉企画課	☎023-630-2333	神戸市精神保健福祉センター（神戸市）	☎078-371-1900
	山形県精神保健福祉センター	☎023-674-0139	奈良県業務・衛生課	☎0742-27-8664
	福島県業務課	☎024-521-7233	奈良県精神保健福祉センター	☎0744-47-2251
	福島県精神保健福祉センター	☎024-535-3556	和歌山県業務課	☎073-441-2663
	関東信越厚生局麻薬取締部	☎03-3512-8690	和歌山県精神保健福祉センター	☎073-435-5194
	関東信越厚生局麻薬取締部横浜分室	☎045-201-0770	中国四国厚生局麻薬取締部	☎082-228-8974
関東信越	茨城県業務課	☎029-301-3388	鳥取県医療・保険課	☎0857-26-7203
	茨城県精神保健福祉センター	☎029-243-2870	鳥取県立精神保健福祉センター	☎0857-21-3031
	栃木県医薬・生活衛生課	☎028-623-3779	島根県業務衛生課	☎0852-22-5259
	栃木県精神保健福祉センター	☎028-673-8785	島根県立心と体の相談センター	☎0852-21-2045
	群馬県業務課	☎027-226-2665	岡山県医薬安全課	☎086-226-7341
	群馬県こころの健康センター	☎027-263-1156	岡山県精神保健福祉センター	☎086-201-0828
	埼玉県業務課	☎048-830-3633	岡山市こころの健康センター	☎086-803-1273
	埼玉県立精神保健福祉センター	☎048-723-3333	広島県業務課	☎082-513-3221
	さいたま市こころの健康センター	☎048-762-8548	広島県立総合精神保健福祉センター	☎082-884-1051
	千葉県業務課	☎043-223-2620	広島市精神保健福祉センター	☎082-245-7731
	千葉県精神保健福祉センター	☎043-307-3781	山口県業務課	☎083-933-3018
	千葉市こころの健康センター	☎043-204-1582	山口県精神保健福祉センター	☎083-902-2672
	東京都業務課	☎03-5320-4505	四国厚生支局麻薬取締部	☎087-823-8800
	東京都立中部総合精神保健福祉センター	☎03-3302-7575	徳島県業務課	☎088-621-2233
	東京都立多摩総合精神保健福祉センター	☎042-376-1111	徳島県精神保健福祉センター	☎088-602-8911
	東京都立精神保健福祉センター	☎03-3844-2210	香川県業務課	☎087-832-3300
	神奈川県業務課	☎045-210-4972	香川県精神保健福祉センター	☎087-804-5566
	神奈川県精神保健福祉センター	☎045-821-8822	愛媛県業務衛生課	☎089-912-2393
	横浜市中心の健康相談センター	☎045-671-4455	愛媛県心と体の健康センター	☎089-911-3880
	川崎市総合リハビリテーション推進センター	☎044-201-3242	高知県業務衛生課	☎088-823-9682
	相模原市精神保健福祉センター	☎042-769-9818	高知県立精神保健福祉センター	☎088-821-4966
	新潟県感染症対策・業務課	☎025-280-5187	九州厚生局麻薬取締部	☎092-431-0999
	新潟県精神保健福祉センター	☎025-280-0111	九州厚生局麻薬取締部小倉分室	☎093-591-3561
	新潟市こころの健康センター	☎025-232-5560	福岡県業務課	☎092-643-3287
	山梨県衛生業務課	☎055-223-1491	福岡県精神保健福祉センター	☎092-582-7500
	山梨県立精神保健福祉センター	☎055-254-8644	福岡市精神保健福祉センター	☎092-737-8829
	長野県事務管理課	☎026-235-7159	北九州市立精神保健福祉センター	☎093-522-8729
	長野県精神保健福祉センター	☎026-266-0280	佐賀県業務課	☎0952-25-7082
	東海北陸厚生局麻薬取締部	☎052-961-7000	佐賀県精神保健福祉センター	☎0952-73-5060
	富山県業務指導課	☎076-444-3234	長崎県業務行政室	☎095-895-2469
東海北陸	富山県心の健康センター	☎076-428-1511	長崎県子ども・女性・障害者支援センター	☎095-846-5115
	石川県業務衛生課	☎076-225-1442	熊本県業務衛生課	☎096-333-2242
	石川県こころの健康センター	☎076-238-5761	熊本県精神保健福祉センター	☎096-386-1166
	岐阜県業務水道課	☎058-272-8285	熊本市こころの健康センター	☎096-362-8100
	岐阜県精神保健福祉センター	☎058-231-9724	大分県業務室	☎097-506-2650
	静岡県業務課	☎054-221-2413	大分県こころからの相談支援センター	☎097-541-5276
	静岡県精神保健福祉センター	☎054-286-9245	宮崎県業務対策室	☎0985-26-7060
	静岡市こころの健康センター	☎054-262-3011	宮崎県精神保健福祉センター	☎0985-27-5663
	浜松市精神保健福祉センター	☎053-457-2709	鹿児島県業務課	☎099-286-2804
	愛知県医薬安全課	☎052-954-6305	鹿児島県精神保健福祉センター	☎099-218-4755
	愛知県精神保健福祉センター	☎052-962-5377	九州厚生局沖縄麻薬取締支所	☎098-854-0999
	名古屋市精神保健福祉センター	☎052-483-3022	沖縄県衛生業務課業務班	☎098-866-2055
	三重県業務課	☎059-224-2330	沖縄県立総合精神保健福祉センター	☎098-888-1443
	三重県こころの健康センター	☎059-223-5241		
近畿	近畿厚生局麻薬取締部	☎06-6949-3779		
	近畿厚生局麻薬取締部神戸分室	☎078-391-0487		

● 全国各保健所
● 各都道府県警察署

厚生労働省

〒100-8916
東京都千代田区霞が関 1-2-2
TEL:03-5253-1111 (代表)

薬物乱用問題についてさらに詳しくは
厚生労働省ホームページをご覧ください。

厚生労働省 薬物乱用

検索

QRコードで
携帯電話でも
ご覧いただけます。
(2024年度版)



保護者のみなさまへ

薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」
～こどもたちを薬物乱用から守るために～

こどものまわりは危険がいっぱい



こどもたちの身近にあるスマートフォンやパソコンを使って、インターネットから危険な薬物が簡単に入手できてしまいます。うちの子に限って……と油断せず、十分に注意して見守ることが必要です。

「薬物乱用の危険」から こどもたちを守るために 大切なこと・心がけること

こどもを薬物乱用の危険から守るためには、
保護者がこどもとの対話を大切にして、日々の
様子に注意深く見守ることが大切です。

こどもが自分自身のことを大切に、悪い誘
いを寄せつけず、もし誘われても断る態度を身
に付けさせましょう。



誘われたら
はっきりと断ること！
逃げてよいから
その場から離れましょう。

SNS やチャットで薬物を
勧められても反応しないこと。
連絡を切って
ブロックしましょう！



こどもが自分自身を大切に、
周囲の人や物も大切に
思う心を育みましょう！

薬物はこどもの脳に ダメージを与えます。

私たちの脳は、すごいスピードで情報を処理し、心と身体をコントロール
する優れた仕組みを持っています。しかし、薬物を乱用すると脳の仕組みに
ダメージを与え、乱用が続くと様々な障害を引き起こします。

特に成長期にある青少年の脳は成人に比べて影響を受けやすいため、
注意が必要です。

主な脳への障害



厚生労働省



文部科学省

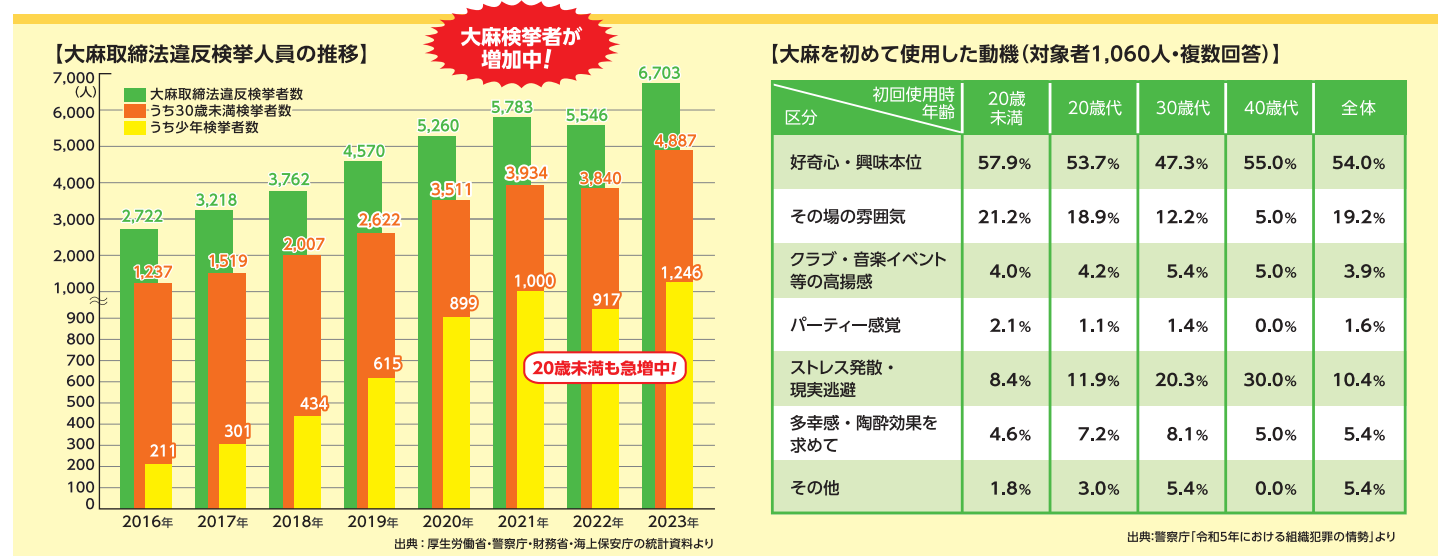
薬物乱用は身近な問題です。

大麻で検挙される若者が急増しています！

ここ数年、大麻による検挙者が急増しています。2023年には大麻による検挙者数は統計開始以降、過去最多となり、これまで最も多かった覚醒剤による検挙者数を初めて上回りました。大麻の検挙者全体のうち、約70%は30歳未満の若者で、なかでも急増しているのが20歳未満の若者です。その原因の一つとしてインターネット等に氾濫している「**大麻は心身への悪影響がない**」などの間違った知識や情報に、若者たちが影響されていることが考えられます。大麻の危険性を十分に理解せず、興味本位で手を出してしまうのは若者に多いのです。保護者のみなさまも正しい知識や情報を持って見守る必要があります。



大麻



大麻は心身への悪影響はない？ → NO 間違いです！



インターネット等で、「大麻は心身への悪影響がない」「依存性がない」などの誤った情報が氾濫しています。しかし、実際には大麻を乱用すると、大麻の花や葉に含まれる成分「THC(テトラヒドロカンナビノール)」が脳に作用して下図のような様々な影響があります。

大麻の有害性は特に成長期にある若者の脳に対して影響が大きいことも判明しています。また、大麻はうつ病や記憶の障害を引き起こすなど、メンタルヘルスにも悪影響を与えます。間違った情報に流されず、正しい知識で判断しましょう！



大麻の乱用による影響			大麻の有害性	大麻を長く使い続ける影響	
知覚の変化	学習能力の低下	運動失調	精神障害	IQ(知能指数)の低下	薬物依存
時間や空間の感覚がゆがむ	短期記憶が妨げられる	瞬時の反応が遅れる	統合失調症やうつ病を発症しやすくなる	短期・長期記憶や情報処理速度が下がる	大麻への欲求が抑えられなくなる

SNSでの薬物の誘いに注意！

近年、薬物が密売買される手段として危険が拡大しているのがSNSです。特にSNS上では大麻を意味する隠語や絵文字などが使われ、大麻などの購入を促す内容が多く投稿されています。こどもたちもそうした情報に簡単にアクセスすることができ、実際に未成年の学生がSNSを通して売人から大麻を購入した事件も複数報告されています。

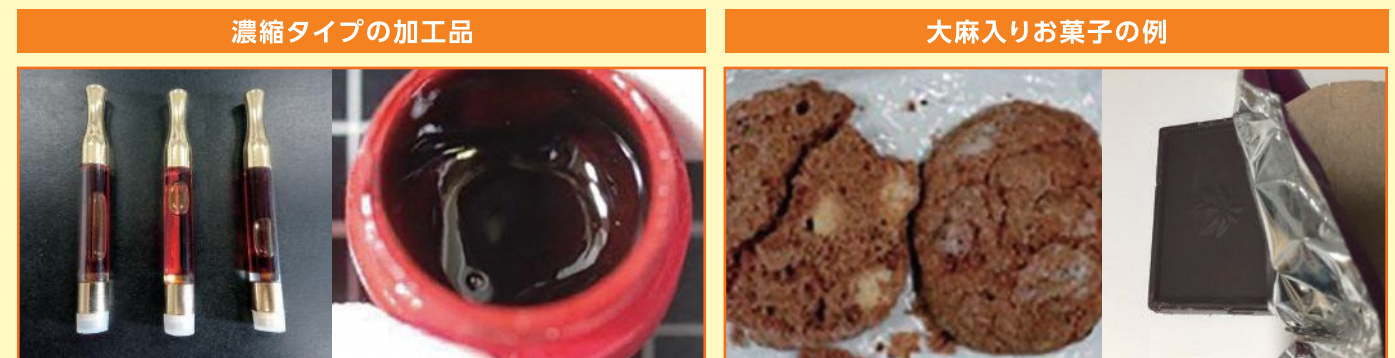
SNSを通して違法薬物の売人と関わることは、多くの危険を伴います。こどもたちがSNSを活用している場合は、注意して見守ることが大切です。



「うちの子には関係ない」と思っていませんか？ もしものために、色々知ってみませんか？

大麻の加工品や大麻を含んだ食品に気をつけて！

大麻から成分を抽出した「大麻リキッド」や「大麻ワックス」など濃縮タイプの加工品の摘発も増加しています。また、海外でお土産として売られているチョコレートやクッキー、キャンディなどの中に**大麻が含まれている**ことがあり、それらの製品の多くは、「Cannabis(英：大麻)」という文字や大麻の葉の絵が描かれています。誤って口にして体調不良で救急搬送された事例も発生しているので十分に注意しましょう。



大麻や覚醒剤などの薬物は、持っているだけでも法律によって罰せられます。

大 麻*	覚 醒 剤	危 険 ド ラ ッ グ	M D M A
大麻 所持・使用・譲渡	覚醒剤 所持・使用・譲渡	危険ドラッグ・指定薬物 所持・使用・譲渡	コカイン・MDMA など 所持・使用・譲渡
麻薬及び向精神薬取締法 7年以下の懲役	覚醒剤取締法 10年以下の懲役	医薬品医療機器等法* 3年以下の懲役	麻薬及び向精神薬取締法 7年以下の懲役

※法律が改正され、大麻及びその有害成分であるTHC(テトラヒドロカンナビノール)が規制の対象になります。

※医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律

医薬品も間違った使い方は乱用です！

- 医師から処方された薬や市販薬を用法・用量を守らずに過量に摂取することは、健康被害を引き起こしたり、やめられなくなったりするおそれがあります。
- 海外サイトで販売している医薬品は、偽造品や思わぬ健康被害が生じる場合があります。安易に医薬品を個人輸入することは、やめましょう。



- 向精神薬は、病院等で睡眠薬や精神安定剤などとして処方され、医療用として用いられています。**向精神薬をみだりに譲り渡すことは、法律で処罰の対象**となります。自分が処方された薬を、フリマサイトに出品するなどして転売してはいけません。
- 睡眠薬等を相手に飲ませ、性暴力等を行うことは刑事罰の対象になります。

過量服薬(オーバードーズ)は健康被害を引き起こすなど大変危険です！